

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスりとわか葉		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 3 月 1 日		～ 令和 8 年 3 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和 8 年 3 月 1 日		～ 令和 8 年 3 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 30 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・感覚統合運動を作業療法士、理学療法士が約30分個別で行っている。	・まずは児童が楽しめるようにやらされているのではなく遊びとして運動ができるよう工夫している。 ・心がけとして感覚足りない部分+本人の好きな遊びを取り入れるようにしている。	・支援の質の向上、知識向上のため勉強会や研修に参加していく。
2	・職員の急なお休みでも対応可能。職員間でポジティブな意見がやすい	・否定ではなく肯定的な意見交換を心がけ、発言しやすい雰囲気づくりを意識している。	・職員のスキル向上を目的とした内部研修や外部研修への参加を促進し、チーム全体の専門性向上を図っていく。
3	・毎日違うレクリエーションやこどもに合わせたプログラム	・小さな成功体験を積めるよう、達成感につながる関わりを大切にしている。	・好評だった活動、効果のあった活動を職員間で共有し、プログラムの質の向上を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・共有できていない部分が多い。	・共有の重要性は認識しているものの、具体的な仕組みやルールが十分に整備されていない。	・短時間でも毎日のミーティングや引き継ぎの機会を設ける。
2	・家庭の状況理解	・送迎時や短時間のやり取りが中心となり、家庭の状況について深く話を聞く機会が限られている。	・保護者との面談の機会を定期的に設け、家庭の状況や困りごとを丁寧に聞き取る体制づくりを行う。
3	・外出活動が少ない	・感覚統合運動等を重視しているため、事業所内での活動が中心となっている。	・事業所内での活動を中心としながらも、季節行事や短時間の外出など、無理のない範囲での外出機会について検討していく。